

がんばってます!



佐藤 大樹さん

JA菊池
肉牛青年部部长



菊池市旭志で、黒毛和牛(肉牛)を肥育されている佐藤大樹さんを取材しました。佐藤さんのご家族は、奥様、お子さん3人(上二人

豊福 正光さん

JAくま
ズッキーニ部会 部会長



球磨郡相良村で、ズッキーニなどを生産されている豊福正光さんを取材しました。豊福さんのご家族は、奥様とお母様の3人家族です。

は双子)、ご両親の7人家族です。

●就農について

佐藤さんは、熊本市内の大学卒業前に大病を患い入院。就職戦線に乗り遅れ、実家の畜産を手伝ううちに、そのまま就農となりました。

幼い頃から両親の大変さを見て育ち、家業を継ぐつもりはなかったという佐藤さん。好きな機械いじりの道へ進みたいことから工業大学へ進学し、畜産については全くの素人からの出発

でした。

現在は、ご夫婦とご両親の4人で、黒毛和種肥育190頭、繁殖母牛14頭を肥育されています。

●就農して辛かったこと

「2年前の熊本地震で被災したことです。80頭規模の牛舎が1棟潰れました。JA菊池管内で18頭の和牛が死にましたが、うち9頭はうちの和牛です。」

また、出荷先である(株)熊本畜産流通センターも被災し、出荷したいのに出荷できないもどかしさに、や

り場のない憤りを覚えまして。」

●今後の抱負と将来について

「牛舎の規模拡大です。また、息子が3人いるので、誰かが後継者として育ててくれたら嬉しいですよ。」

●恵まれた環境

「自分は、恵まれた地域で畜産に携わりました。一人勝ち抜けと考える人や、人の足を引っ張る人はいません。みんなで教え合い、力を合わせて良い和牛を育てています。自分もまだまだ勉強中。わからないこと

は、はずかしがらずに先輩に聞いています。」

また、旭志支部には黒毛研究会があり、毎月支部の誰かが大阪へ行き視察、その報告を兼ねて勉強会をしています。」

●最後に一言

「和牛に美味しいですよ! たくさん食べてください!!」
好きな言葉は「一生懸命」。自分達が丹精込めて育てた和牛を、美味しいと言ってもらえることが嬉しいという、シャイな中に面白さを感じさせる佐藤さんでした。

●就農について

豊福さんが就農したときは、米の減反が始まった頃です。メロンやスイカが市場で流行り始めたこともあり、米だけでなく、メロン栽培もする約束で、実家での就農となりました。

現在は家族3人で、ズッキーニ11畝、アンデスメロン25畝、種取玉ねぎ22畝を栽培されています。

●就農してつらかったこと

「やはり、17〜8年前の大型台風ですね。熊本県全体で大きな被害があり、メ

ロンが全滅しました。あと少しで出荷できるときにハウスが倒壊し、精神的にも金銭的にも、本当につらかったです。それから何年も台風による被害が続いたこともあり、メロン栽培を一旦辞めました。」

●将来への思い

「ズッキーニは、7〜8月の暑すぎる時期以外は栽培でき、春と秋の収穫になります。」

昨年度のJAくままでのズッキーニ栽培農家は約130戸です。もっとズッ

キーニの需要が伸び、熊本県全域に、ズッキーニの栽培が広がり、熊本県全体でズッキーニ栽培を応援してもらいたいですね。熊本といえど、ズッキーニと言えど、どになれば嬉しいですよ。」

●「ズッキーニ」おすすめの食べ方は

「おすすめは『ズッキーニとごま切れ肉の炒め物』です。油との相性が良く、肉の旨味とマッチして美味しいですよ。調味料は、ご家庭で好きな味付けにしてください。」

●最後に一言

生でも、火を通して美味しいズッキーニです。ぜひ、いろんな料理をアレンジして、たくさん食べてください!!」

好きな言葉は「努力」。農業は、定植から収穫まで自分で見ることができるところが楽しいと、嬉しそうに語る豊福さんでした。